

平成29年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（小学校6年）

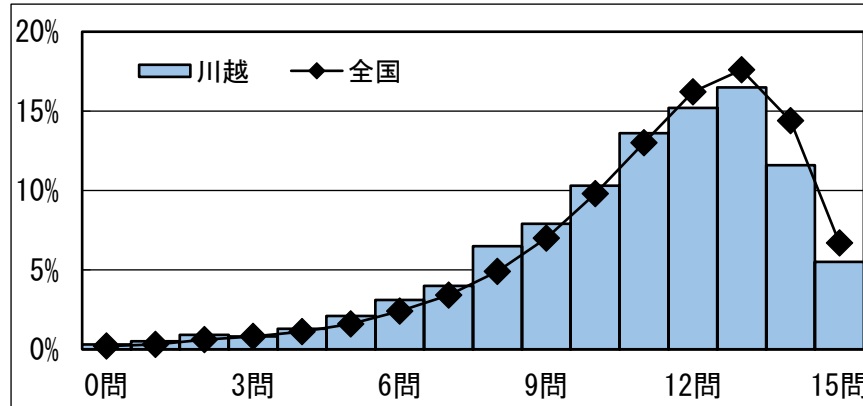
教科に関する調査 小学校：国語

平均正答率 国語A：72% 国語B：54%

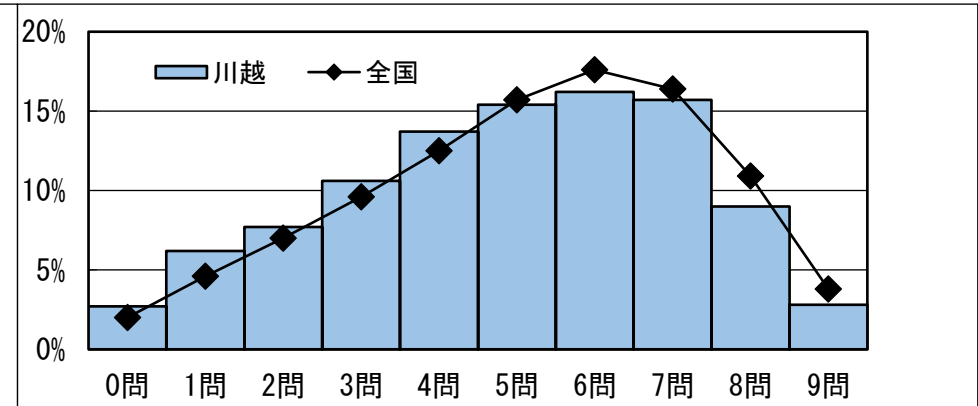
正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合）

【国語A】主として「知識」に関する問題



【国語B】主として「活用」に関する問題



2 国語の調査結果の概要及び指導改善のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】◇今回出題された漢字の読みについては、相当数の児童ができています。

- ◆目的や意図に応じ、必要な内容を整理して書くことに課題がある。
- ◆自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えることに課題がある。

【指導改善のポイント】

- 読み手に自分の伝えたいことが分かるようにするため、具体的な事実を基にしたり、複数の内容を関係付けたりして必要な内容を整理して書くことは重要である。目的や意図に応じて、取材の内容や方法を工夫し、書く事柄を収集した上で、その中から、具体的な事実と自分の感想、意見などを区別しながら必要な内容を整理して書くことができるように指導することが大切である。
- 物語を読んで感想を伝え合い、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにすることは重要である。そのために、自分の考えが、どの叙述に基づいているか、自分の経験などとどう結びつけているのかを明らかにしながら伝え合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気付くことができるように指導することが大切である。さらに、互いの考えの共通点や相違点を明らかにしながら、自分の考えを広げたり深めたりすることができるように指導することが大切である。

平成29年度全国学力・学習状況調査 川越市立小・中学校の調査結果（小学校6年）

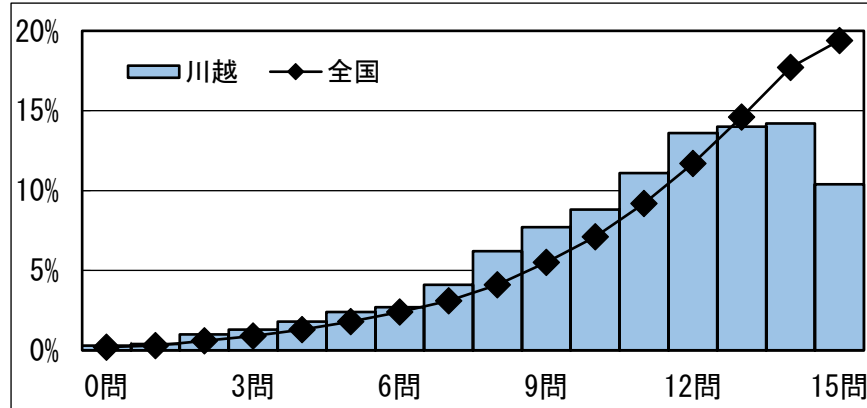
教科に関する調査 小学校：算数

平均正答率 算数A：73% 算数B：42%

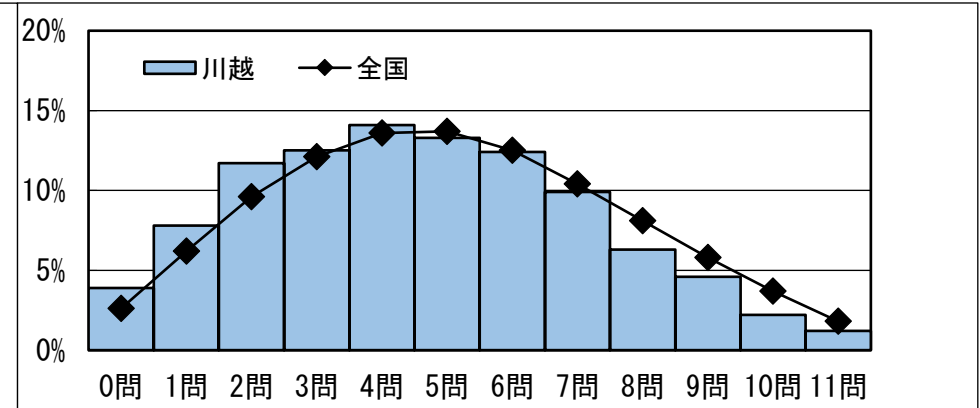
正答数分布グラフ（横軸：正答数 縦軸：割合）

1 正答分布率（正答数ごとの児童の割合）

【算数A】主として「知識」に関する問題



【算数B】主として「活用」に関する問題



2 算数の調査結果の概要及び指導改善のポイント（◇良好である点 ◆課題がある点）

【結果概要】◇具体的な問題場面において、情報で表すことができる二つの数量の関係の理解については、相当数の児童ができている。

◇立方体の面と面の位置関係は、相当数の児童ができている。

◆商を分数で表すことに課題がある。

◆高さが等しい平行四辺形と三角形における、底辺と面積の関係の理解に課題がある。

◆身近なものに置き換えた基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述することに課題がある。

【指導改善のポイント】

○整数、小数及び分数の計算においては、計算の意味と計算の仕方を、図や数直線などを用いて関連付けながら考察し、説明できるようにすることが大切である。

○量の比較や測定においては、比較や測定の方法のよさを理解し、新たに学習する量の比較や測定に活用できるようにすることが大切である。

○日常生活の中には、算数で学習した内容を基に数理的に処理し合理的に判断できる場面がある。日常生活の事象を、児童にとってより身近なものなどに置き換え、割合を活用して考察したり、表や図、グラフに表して捉え、そこから見いだすことができる特徴や傾向を基に考察したりすることができるようにすることが大切である。